著　者　紹　介

Blagovest Hristov Sendov（名誉会員）
2003年より駐日ブルガリア特命全権大使. 数学者. International Federation for Information Processing（IFIP）の会長を1989年から1992年まで務める. 現在 IFIP 名誉会長. 1932 年にブルガリアに生まれ 1956 年ソフィア国立大学数学科卒業後, モスクワの Steclov Mathematical Institute で理学博士の学位を 1967 年に取得. 1970 年から 1973 年までソフィア国立大学数学部の学部長, 1973 年から 1979 年までソフィア国立大学学長を務める. 1980 年から 1988 年までブルガリア科学アカデミー副会長, 1988年から 1991 年まで同会長に就任. 1975 年から 1990 年まで国会議員としても活躍し, 1997 年から 2003 年までは国民会議の議長, 副議長を務める. 1980 年から 1985 年まで世界大学協会の副総裁, 総裁を務め現在名誉総裁. 200 件以上の数学, 情報, 教育分野の論文を発表. 2003 年に Atanasoff 生誕 100 年を記念して「Atanasoff — The Electronic Prometheus」を St. Kliment Ohridski University Press より出版.

雨宮　治郎
1992 年東大工学系研究科数理工学専攻修士課程修了. 同年（株）東芝入社. 現在, 同社ブロードバンドシステム LSI 開発センター主務. マルチコアプロセッサのソフトウェア開発に従事.

井上　浩明
NEC システムデバイス研究所主任. 1999 年慶應義塾大学より工学修士取得. マルチコアの研究開発に従事. デジタルシステム工学応用編（丸善）翻訳. E-mail:h-inoue@ce.jp.nec.com

今井　　賢
1999 年東京工業大学大学院卒業, 同年富士通研究所入社. 入社当時からマイクロプロセッサ設計, 検証, ソフトウェア開発の研究に従事.

枝廣　正人（正会員）
NEC システムデバイス研究所主席研究員. 1999 年プリンストン大学より Ph.D.. マルチコア向けソフトウェアの研究開発に従事. 元岡賞, 本会坂井記念特別賞などを受賞. 電子情報通信学会, 日本 OR 学会, IEEE 各会員.

笠原　博徳（正会員）
昭和 55 年早稲田大学理工・電気卒業. 昭和 60 年博士課程修了. 工学博士. 学振特別研究員. 早大助手, 講師, 助教授を経て平成 9 年教授, 平成 15 年コンピュータ・ネットワーク工学科教授. その間 UC Berkeley, Univ. of Illinois CSRD 客員研究員. 昭和 62 年 IFAC World Congress Young Author Prize. 平成 9 年本会坂井記念特別賞受賞. 著書「並列処理技術」.

木戸　尚治
1984 年名大・工・修士修了, 1988 年阪大・医卒業. 1992 年同博士修了. 放射線科勤務を経て, 1999 年より山口大学工学部知能情報システム工学科教授. 博士（医学・工学）, 専門はコンピュータ支援診断, 胸部画像診断学. 日本医学放射線学会, 日本医用画像工学会, 電子情報通信学会, 北米放射線学会等各会員.

木村　啓二（正会員）
平成 13 年早稲田大学大学院理工学研究科電気工学専攻博士課程修了. 博士（工学）. 平成 17 年同大コンピュータ・ネットワーク工学科助教授, 今に至る. プロセッサアーキテクチャ, コンパイラに関する研究に従事.

斎藤　　明（正会員）
1986 年東京大学大学院理学系研究科情報科学専門課程修了. 理学博士. 東北大学工学部助手, 日本大学文理学部専任講師, 同助教授を経て, 現在日本大学文理学部情報システム解析学科教授. グラフ理論の研究に従事.

酒井　淳嗣（正会員）
NEC システムデバイス研究所主任. 1994 年京都大学大学院・情報工学・修士課程修了. NEC にてマルチコアプロセッサ PJ に参加, コンパイラ, 並列ミドル, アプリ並列化の研究開発に従事. IEEE CS 会員.

須賀　敦浩
1989 年横浜国立大学大学院卒業, 同年富士通研究所入社. スーパコンピュータ VPP 開発, FR-V のアーキテクチャの開発に従事.

高田　広章（正会員）
名古屋大学大学院情報科学研究科教授. 博士（理学）. 組込みシステム開発技術の研究に従事. オープンソースの ITRON 仕様 OS などを開発する TOPPERS プロジェクトの会長を務める. 本会組込みシステム研究グループ主査.

多湖真一郎
1998 年東京工業大学大学院卒業, 同年富士通研究所入社. 入社当時からマイクロプロセッサ, 特にアーキテクチャの研究に従事.

田中　篤志
2002 年東京工業大学大学院卒業, 同年富士通研究所入社. 富士通研究所勤務, マイクロプロセッサの研究に従事.

永田　周一（学生会員）
2005年より慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程に在籍. 2003 年度 IPA 未踏ソフトウェア創造事業スーパークリエータ認定. ネットワークを利用した創作・発信活動の支援システムに興味を持つ.

鳩山由紀夫
東京大学工学部卒業, スタンフォード大学工学部博士課程修了. 1986 年自民党公認で出馬し初当選, 1993 年「新党さきがけ」を結成, 1996 年「民主党」結党. 民主党代表を 3 期務め, 現在は民主党幹事長.

早川　文彦
1998 年上智大学大学院卒業, 同年富士通研究所入社. 入社当時からマイクロプロセッサ, 特にキャッシュ・バスの設計に従事.

疋田　敏朗（正会員）
2003 年東京大学情報理工学研究科数理情報学専攻修士課程修了. （株）トヨタ IT 開発センター入社. 現在, TOYOTA InfoTechnology Center U.S.A. Inc. にて自動車間通信の研究に従事.

星野　　力（正会員）
1965 年京都大学工学研究科博士課程電気工学専攻修了. 工学博士. 1980 年より筑波大学情報学類・機能工学系教授. 並列計算機 PAX シリーズの研究と開発, 人工生命・進化的計算に関する研究に従事. 2001 年筑波大学名誉教授.

本田　晋也（正会員）
名古屋大学情報連携基盤センター名古屋大学組込みソフトウェア技術者人材養成プログラム産学官連携研究員. 博士（工学）. リアルタイム OS, ソフトウェア・ハードウェアコデザインの研究に従事.

前田　誠司（正会員）
1994 年早稲田大学大学院理工学研究科電気工学専攻修士課程修了. 同年（株）東芝入社. 現在, 同社研究開発センター研究主務. オペレーティングシステム, 並列・分散処理, スケジューリングアルゴリズムの研究に従事. IEEE CS 会員.

真鍋　義文（正会員）
1985 年大阪大学大学院基礎工学研究科修士課程修了. 同年 NTT 入社. 現在, NTT サイバースペース研究所主幹研究員. 京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻連携助教授. 分散アルゴリズム, 暗号理論, グラフ理論, オペレーティングシステムなどに興味を持つ. 博士（工学）.

和田　英一（名誉会員）
1955 年東京大学理学部物理学科卒業. 東京大学工学部, 富士通研究所を経て IIJ 技術研究所長. プログラム言語, 操作システムなどソフトウェアシステムやインタフェースに関心があり, Happy Hacking Keyboard, 和田研フォントの開発に関与. IFIP WG2.1, WIDE プロジェクトメンバ. プログラミング・シンポジウム委員長, 本会誌編集長.

お申込は http://www.ipsj.or.jp/04tosho/45DVD.html から!!

収録論文　全研究会の研究報告を創刊から2004年分まですべて収録！（DVD8枚組）

会誌	Vol.41（2000年）〜Vol.45（2004年）	約1,550件
ジャーナル	Vol.41（2000年）〜Vol.45（2004年）	約1,760件
トランザクション	Vol.41（2000年）〜Vol.45（2004年）	約840件
研究報告（全研究会）	創刊より〜2004年	約28,000件
英文誌	Vol.1（1961年）〜Vol.17（1977年）	約310件
欧文誌	Vol.1（1978年）〜Vol.15EX（1992年）	約440件

検　索　書誌情報、アブストラクトまでフリーワード検索可能！

検索ソフト対応OS：WindowsXP / Windows2000 / MacOS X / Linux

※検索プログラムはサーバ利用には対応しておりません。

予定販売価格（予約特価は2月28日受付分までとなりますのでご注意ください）

＜予約特価（2006/2/28まで）＞		価格（円）		価格（円）
個人	会　員*	25,000	非会員	50,000
法人	会　員**	100,000	非会員	200,000
＜定価（2006/3/1より）＞		価格（円）		価格（円）
個人	会　員*	35,000	非会員	70,000
法人	会　員**	150,000	非会員	300,000

*　正会員、名誉会員、終身会員、準会員、学生会員
**　賛助会員、購読員

お問い合わせ：（社）情報処理学会　会誌編集部門　www.ipsj.or.jp　editj@ipsj.or.jp　Tel.03-3518-8371

おふぃすらん

皆様，海外出張でノートパソコンを持って行く際，どのようなことに気をつけていらっしゃいますか？　盗難，紛失，破損などがトラブルとして考えられますが，パソコンのデータのバックアップはどのようになさっていますか？　私の場合，昨年4月23日（土）に巻き込まれた，T社（アンチウィルスソフト会社）の「トラブル」をきっかけにまじめに対応するようになりました．

ISO/IEC JTC 1/SC 29/WG 11（MPEG）会合，土日をあけて，それに続くSC 29総会出席のため，韓国の釜山に出張中の時のことです．SC 29の国際幹事を担当しているため，通常，会合と会合の間の土日は，MPEG会合後の処理，SC 29総会準備のため，ホテルにこもって仕事をしています．4月23日の朝は，まずパソコンを立ち上げ，アンチウィルスソフトのパターンファイルの更新をし，e-mailのチェックをしました．特に急ぎのメールはなかったので，とりあえずパソコンの電源を消しました．朝食後，再び仕事を始めようと思いましたが，パソコンを立ち上げるとすぐに，CPUが100%になって，動作が著しく遅くなり，シャットダウンするしかない状況になってしまいました．原因が分からず，試行を繰り返しておりましたが，このままでは総会の準備に支障をきたすと思い，途中からSC 29議長の先生に手伝っていただきました．先生は，私のパソコンからのデータの抽出，不具合の原因調査，私は先生のパソコンを使って総会の準備をしました．結局，原因が午前7:33から午前9:02の間だけ公開されていたアンチウィルスソフトのウイルスパターンファイルの更新だったということが分かり，パソコンが完全に元の状態に戻ったのは，夜6時頃でした．総会には影響を与えずに済みましたが，その日だけで“精神的”には5kgぐらい痩せたような気がしました．

この出来事がきっかけで，パソコンのハードディスク内にあるデータのバックアップが手元にあり，現地で代替のパソコンが使えれば，なんとか仕事ができる環境になるということを学びました．この会合以降は，ブート機能付きのHDドライブを持っていっています．日本国内ならば，なんとかなるようなことも，海外だと問題になることも少なくありません．こういったHDを使ったデータのバックアップ，そして，慣れてくると忘れがちですが，「何が起こるか分からない，油断禁物！」と肝に銘じて出張に臨みたいと思っております．

（小倉由紀子／規格部門）

■ 各種問合せ先 ■

（社）情報処理学会（本部）　※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください．
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5　化学会館4F　　Fax(03)3518-8375　http://www.ipsj.or.jp/

担　当	E-mail	Tel（ダイヤルイン）	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会　員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会費等口座振替，海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，シンポジウム，研究グループ，論文誌（トランザクション）
■ 事業部門			
事　業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，連続セミナ，プログラミング・シンポジウム
国　際	intl@ipsj.or.jp		国際会議，IFIP委員会
■ 管理部門			
総　務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会，支部，役員選挙，名誉会員
経　理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，電子化委員会，電子図書館，IPSJメールニュース
図　書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8　機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808　Fax (03)3431-6493　http://www.itscj.ipsj.or.jp/

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では，10月号へのご意見・ご感想を紹介いたします．まず，10月号の特集「新世代マイクロプロセッサアーキテクチャ（前編）」につきましては，以下のようなご感想・ご意見をいただきました．

■専門の分野ではないために，学部の授業で習ったことを思い出しながら読みました．理解するのに困難な部分が多々あったのですが，概念的なところは面白く読めました．（平島大志郎）

■現在，ASICの製作費用が億円単位になりつつあるので，再構成可能プロセッサにあるようなFPGA化が進んでいくかと思われる．（松田昭信）

■最近は「ムーアの法則の限界」や「マルチコア」などがニュースでも取り上げられるようになっており，非常に興味を引く話題だった．門外漢にはやや難解な内容だったが，プロセッサ技術の最先端を垣間見ることができたと思う．（匿名希望）

■マイクロプロセッサの新しいアーキテクチャの仕組みが詳しく解説されていて面白かったです．（匿名希望）

■今月号の特集はタイトルを見た時点では，自分には読み進めるのが難しそうな内容だと思っていたのですが，実際に読んでみると分かりやすい文章で，とても興味深い話だと感じられました．キーワードなどの説明がしっかりしていたのがとてもよかったと思います．次号の特集も楽しみです．（片山聡一郎）

解説「健康生活を支えるIT技術の動向」につきましては，以下のようなご感想・ご意見をいただきました．

■健康が注目される中，ITとの関係についての記事を興味深く読めました．（太田宏佑）

■今月は，自分にとってはあまり身近な記事でなかったので，あまりたくさんの記事を読めませんでした．健康増進法の関係で，健康関連とITの結びつきが強くなってきていることが，新しい発見として興味深かったです．（匿名希望）

■健康を支える技術が整ってきていることをよく知ることができました．現実的に，これからどこまでウェアラブルでモニタリングするIT技術が入り込んでいくのかに非常に興味があります．常に機械に囲まれる人間の心理とともに，これからどのように調節されていくのか，細かな法的整備も必要になってくるのでしょうか．（平島大志郎）

■さまざまな分野・技術が網羅されており興味深かった．今後，これらのうちいくつかに絞った記事も読んでみたい．（匿名希望）

■最近はパソコンにデータを取り込むことのできる万歩計を身に付けていて，パソコンでそのデータを見てみるとその日その日の自分の生活がかなり分かるというのを実感しています．このように健康生活を支えるIT技術の動向に出てきたウェアラブル機器というのは今後増えてくるのではないかと思いました．ただその一方で，現在その万歩計を使っていて，自分の生活のあらゆる面が数値データとして表されてしまっていることに違和感も感じているので，普及のためにはその抵抗感を和らげる必要があるのではないかと思います．（片山聡一郎）

解説「コンピュータのその先を見せる―早稲田大学コンピュータ・ネットワーク工学科における広報活動―」につきましては，以下のようなご感想・ご意見をいただきました．

■情報系の学生確保は，大学にとって大変な問題なので，記事を期待していました，しかし，今回の内容での取り組みは，多くの大学ですでに行っているため，記事に新鮮味がありませんでした．（匿名希望）

■情報系学科志望者の減少の問題は大変深刻だと感じた．学生の情報系離れについては，我々情報学の研究に携わる人たちの責任もあると思う．情報学をより魅力的な学問として提供できていない結果ではないだろうか．今後も機会があればこの問題を取り上げていただきたい．（匿名希望）

■情報系志望者の減少は非常に大きな問題であり，その取り組みの一端としてこのような具体的な記事は非常に有益だと思います．本文中の「高校生のみならず世間一般に夢を提示することが必要なのであろう」には，非常に同感します．（平島大志郎）

■私がお世話になっている大学では，情報工学科は今でも人気があります．大学によって情報系学科あるいは学部の人気の度合いが異なるのではないでしょうか．（水野光朗）

■Googleで「情報系　学科　人気下降」のキーワード検索で780件のヒットという記述に興味をひかれました（05.10.18現在この数字は781と出ました）．そこで，同じGoogleで「computer science department, falling enrollment」でキーワード検索をかけたところ，ヒット数はなんと215,000件！　最初の10件余りを読んでみたら，アメリカの大学のCS学科を取り巻く事態の深刻さが伝わってきました．CSとITの違い，先端技術者の需要，危機感，インドや中国へのアウトソーシングの深刻な波及効果，などのキーワードのオンパレードです．まさに「他山の石」で，我が国においても，要素技術者育成の伝統的プログラムに加えて，IT技術者育成，セキュリティ技術者育成の強力なプログラムを作る，火急のニーズを感じます．（池辺八洲彦）

■情報系学科では優秀な学生を集めるのに苦労しているが，早稲田大学における創造的戦略とその実施を具体的にご紹介いただき，情報系の教員と大学広報部の学生募集活動に良い参考となります．企業秘密に近いことをオープンにしていただいて感謝いたします．（竹下　亨）

コラム「アメリカITまわりの話題『うるう秒はITの大敵？!』」につきましては，以下のようなご感想・ご意見をいただきました．

■うるう秒の記事は，過去のGPSのトラブルの原因など，やっと理解できたところもあった．製造プラントの運転情報の収集など，「うるう秒」を正しく解釈できるかどうか心配な機器もあり，考慮が必要と思っている．一方で，業務システムは時刻同期が満足にできて

いないものが多く，「うるう秒」以前の状態のようです．（後藤教彰）

■うるう秒の問題は大きな問題だと思います．計算機を使う世の中での利便性を図るためだけに原子時に統一するというのでは，納得できないものもあります．やはり，うるう秒に対応したシステムを構築していくことが大切なのではないでしょうか．（高田雅美）

■うるう秒問題に対して，これまで危機意識を持ったことがなかったのは大変反省するところである．うるう秒に対応したシステムを設計することは大切であるが，うるう秒対策で起こり得る世界全体の経済的損失を考えると，ぜひとも比較的安全に解決するシステム設計方法を知りたい．（金尻和也）

コラム「私の情報整理術『ユビキタス時代の情報整理術』」につきましては，以下のようなご感想・ご意見をいただきました．

■複数の端末の環境を持っていると必然的にデータが分散してしまいます．それらを一意に整理する手法はさまざま存在しますが，個人の工夫として著者のようにWikiを活用した方法は非常に面白く感じました．多くの人に有益な情報となると思いますので，これからも先進的なツールを含めてさまざま紹介していただきたく思います．（平島大志郎）

■情報の整理には普段から苦労しているため，新しい連載の「私の情報整理術」に期待しています．技術的に難しくても方法論的な部分が参考になりそうです．それに，いろいろな人の情報利用技術というのも分かって面白そうです．（匿名希望）

■情報の整理というのは現代社会においてみんなが持っている共通の悩みの1つであると思うので，ぜひこれからもいろいろな人の情報の整理の工夫を紹介して欲しいと思います．（片山聡一郎）

■読者の多くが，種種雑多な情報を蓄積してしまっていて困っていることと思います．特に古い資料を探し出すのに手間取っています．情報の整理・整頓をうまくやっておられる方々のやり方をお教えいただくのはありがたい．その中から自分に最適なアプローチを見出して，効率的に情報の整理が行われると大変結構なことです．「古い資料はできるだけ廃棄した方がよい」という方々が多いのですが，私は，増井氏の「情報は消さない」に賛成です．（竹下　亨）

コラム「20世紀の名著名論」につきましては，以下のようなご感想・ご意見をいただきました．

■Error-Correcting Codes（W. W. Peterson）：単なる著作の紹介でなく，これまでの経緯・歴史も書かれており，現在でも十分に役立っていることがよく理解できた．（匿名希望）

■Cramming More Components onto Integrated Circuits：今月号の特集では文章中にMooreの法則が頻繁に出てきていたので，この分野におけるこの法則の影響力がいかに大きいかということを改めて思いました．そういう読者の気持ちを見透かしてか，20世紀の名著名論でもMooreの法則が取り上げられていて，この法則がいつまで通用するのか考えさせられました．（片山聡一郎）

その他の記事に関しては，以下のようなご感想・ご意見をいただきました．

■解説「日本の提案に基づくIFIPのエンタテインメントコンピューティングの新展開」を読んで：ゲームの話題になると決まって，始めから「ゲームは悪者」という結論ありきの議論がなされているように思うので，SGの今後の取り組みに期待したい．（片山聡一郎）

会誌の内容や今後取り上げて欲しいテーマに関して，以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました．今後の参考にいたします．

■小学校，中学校における情報教育の実態がどうなっているのか．若年層（大学入学前）の情報技術に対する認識と受けている影響が気になります．（匿名希望）

■以前，インタラクティブな議論を掲載していたが，やめてしまったのだろうか．「量子暗号」のテーマでぜひやってほしい．（匿名希望）

■情報処理技術と他の学問との融合例．（片山聡一郎）

■特集記事があれば，それに関連する広告を募集し，なるべく前後や中のページに掲載するようにしていただいてはいかがでしょうか？研究・開発の成果がどのような製品やサービスに反映されているかの実例として，読者の参考になるし，その製品やサービスを記事で説明してもらっているので，広告主も効果が高いと予測できます．特集記事の著者に尋ねれば広告主を見つけることが容易かと思いますが．たとえば，今回はIntel社などの広告を掲載すればよかったでしょう．（竹下　亨）

【本欄担当　野村佳秀，飛田高雄／書評・ニュース分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL:http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>に掲載していますので，そちらもご参照ください．会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております．今後もよりよい会誌を作るため，ぜひ皆様のお声をお寄せください．

ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため，自由なご意見，ご感想をお待ちしております．
- 記事に対する感想，意見　・記事テーマの提案　・会誌または学会に対する全般的な意見，提言
- その他，情報処理技術についての全般的な意見，提言

など自由なご意見，ご感想をお待ちしております．
なお，「道しるべ」については　<URL：http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>でこれからのテーマ案を募集しており，いただいたご意見をまとめております．
※ご意見，ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします．

掲載に際しては，編集の都合上，ご意見に手を加えさせていただくことがありますので，あらかじめご了承ください．なお，意見の投稿に伴う，住所，氏名，所属などの個人情報については，学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします．<URL：http://www.ipsj.or.jp/somu/privacypolyicy.html>

応募先　〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F　情報処理学会　会誌編集部門
E-mail：editj@ipsj.or.jp　Fax(03)3518-8375
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4701.html

IPSJ カレンダー

開催日	名　称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2006年				
	平成17年度情報処理学会長尾真記念特別賞候補者推薦募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/nagao/h17boshu.html	1月20日（金）		
	論文誌「ユビキタス時代を支えるモバイル通信と高度交通システム」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/06-P.html	3月31日（金）		
	論文誌「便利で身近な音楽情報処理」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-X.html	4月28日（金）		
	論文誌「シームレスコンピューティングとその応用技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-W.html	5月12日（金）		
	論文誌「産学連携論文」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-Y.html	5月15日（月）		
	論文誌「社会システムと向き合うネットワークサービス」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-Z.html	5月19日（金）		
1月16日（月）～ 1月17日（火）	第57回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/PRO57.html	11月16日（水）	当日のみ	産業技術総合研究所
1月17日（火）	2006年情報学シンポジウム－情報学の新しい潮流－ http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/sighp/fi/sympo/2006/cfp.txt		1月15日（日）	東京大学弥生講堂
1月17日（火）～ 1月18日（水）	第123回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SLDM123.html		当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月19日（木）～ 1月20日（金）	ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム（HPCS2006） http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-HPCS2006.html	9月30日（金）	1月6日（金）	東京大学 武田先端知ビル
1月19日（木）～ 1月20日（金）	第152回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CVIM152.html	10月31日（月）	当日のみ	大阪大学 （吹田キャンパス）
1月19日（木）～ 1月20日（金）	第18回高品質インタネット研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/QAI18.html	11月4日（金）	当日のみ	仙台国際センター
1月20日（金）	ISチュートリアル「情報システムの調達とシステム評価－ユーザの視点から－」 http://www.ipsj.or.jp/sig/is/IStutorial2005.html		1月13日（金）	日本IBM箱崎事業所
1月20日（金）	第104回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/AL104.html	11月20日（日）	当日のみ	慶應義塾大学 矢上キャンパス
1月23日（月）～ 1月27日（金）	2006インターネット応用国際会議（SAINT2006） http://www.saintconference.org/	7月1日（金）		アメリカ （アリゾナ州フェニックス）
1月24日（火）	第158回計算機アーキテクチャ研究発表会（SHINING 2006） http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ARC158.html	11月14日（月）	当日のみ	早稲田大学理工学部
1月24日（火）～ 1月27日（金）	Asia and south Pacific Design Automation Conference 2006（ASP-DAC2006） http://www.aspdac.com/aspdac2006/			パシフィコ横浜
1月26日（木）～ 1月27日（金）	第138回データベースシステム・第58回グループウェアとネットワークサービス・第13回放送コンピューティング研究グループ合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DBS138GN58.html	11月30日（水）	当日のみ	吾妻屋シーサイドホテル（和歌山県加太温泉）
1月26日（木）～ 1月27日（金）	ウィンターワークショップ2006・イン・鴨川（WWS2006） http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-WWS2006.html	12月22日（木）		東洋大学 鴨川セミナーハウス
1月27日（金）	高度交通システム2006シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-ITS2005.html		1月20日（金）	日本科学未来館
1月27日（金）	北陸支部主催講演会「大分県におけるデジタルネットワークの取り組みについて」開催案内 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			富山国際会議場
1月27日（金）	第53回デジタル・ドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DD53.html	11月18日（金）	当日のみ	（株）ジャストシステム徳島本社
1月27日（金）	第69回人文科学とコンピュータ研究会発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CH69.html	11月21日（月）	当日のみ	国立教育政策研究所 目黒庁舎
2月1日（水）	東海支部専門講習会「ロボットとIT技術－ロボットとのコミュニケーション」 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			ルブラ王山（名古屋市）
2月3日（金）～ 2月4日（土）	第60回音声言語情報情報処理研究会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SLP60.html	12月2日（金）	当日のみ	熱海温泉 ホテル熱海閣
2月9日（木）～ 2月10日（金）	第4回バイオ情報学研究会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/BIO4.html	12月28日（水）	当日のみ	北海道大学高等教育機能開発総合センター
2月15日（水）	東海支部講演会「電子政府における情報セキュリティ技術に関する現状と課題」 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html	2月15日（水）		東桜会館（名古屋市）
2月16日（木）～ 2月17日（金）	第10回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/UBI10.html	12月16日（金）	当日のみ	公立はこだて未来大学
2月16日（木）～ 2月17日（金）	第101回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/OS101.html	12月19日（月）	当日のみ	大阪大学 中之島キャンパス
2月17日（金）	ソフトウェアジャパン2006（SJ2006） http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/forumindex.html		事前参加締切 2月10日	東京コンファレンスセンター品川
2月17日（金）～ 2月18日（土）	17年度第5回（第83回）コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CE83.html	12月19日（月）	当日のみ	東京学芸大学 小金井キャンパス
2月18日（土）	第30回電子化知的財産・社会基盤研究会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/EIP30.html	12月25日（日）	当日のみ	成蹊大学
2月23日（木）	第64回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MUS64.html	1月10日（火）	当日のみ	化学会館（神田駿河台）会議室
2月27日（月）～ 3月1日（水）	第159回計算機アーキテクチャ・第105回ハイパフォーマンスコンピューティング合同研究発表会（HOKKE-2006） http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ARC159HPC105.html	12月21日（水）	当日のみ	北海道大学 学術交流会館

開催日	名　称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
3月2日（木）～ 3月3日（金）	インタラクション2006 http://www.interaction2006.jp/	12月14日（水）		学術総合センター／ 一橋記念講堂
3月7日（火）	第15回ゲーム情報学研究発表会		当日のみ	東京 青山スカイオフィス
3月7日（火）	日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム （記念シンポジウム） http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/		2月20日（月）	工学院大学 新宿キャンパス
3月7日（火）～ 3月9日（木）	日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム （記念展示会） http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/			工学院大学 新宿キャンパス
3月7日（火）～ 3月10日（金）	第68回全国大会（学会創立45周年記念大会） http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/		2月10日（金） 当日可	工学院大学 新宿キャンパス
3月13日（月）～ 3月14日（火）	第2回ネットワーク生態学シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NE0603.html	12月3日（土）	2月20日（月）	関西学院大学
3月16日（木）～ 3月17日（金）	第95回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/IS95.html	12月16日（金）	当日のみ	専修大学神田 キャンパス
3月16日（木）～ 3月17日（金）	第153回CVIM研究会「CVのためのパターン認識・学習 理論の新展開」 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CVIM153.html	12月26日（月）	当日のみ	九州大学 （箱崎キャンパス）
3月16日（木）～ 3月17日（金）	第126回 マルチメディア通信と分散処理・ 第32回 コンピュータセキュリティ合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DPS126CSEC32.html	1月13日（金）	当日のみ	佐賀大学本庄キャンパス
3月16日（木）～ 3月17日（金）	第58回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/PRO58.html	1月16日（月）	当日のみ	東京大学 生産技術研究所
3月18日（土）	第31回電子化知的財産・社会基盤研究会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/EIP31.html	1月15日（日）	当日のみ	大阪市立大学
3月20日（月）	第16回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/EVA16.html	1月20日（金）	当日のみ	湯布院中央公民館
3月22日（水）	第82回情報学基礎・第55回デジタル・ドキュメント 合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/FI82DD55.html	1月20日（木）	当日のみ	東京電機大学神田 キャンパス
3月23日（木）	第59回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/GN59.html	1月20日（金）	当日のみ	国立情報学研究所
3月27日（月）～ 3月28日（火）	第172回自然言語処理研究会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NL172.html	12月30日（金）	当日のみ	北陸先端科学技術大学 院大学
3月28日（火）	第143回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ICS143.html	1月27日（金）	当日のみ	学術総合センター 特別会議室
3月29日（水）	第40回分散システム／インターネット運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DSM40.html	1月20日（金）	当日のみ	熊本大学黒髪キャンパ ス（南）工学部百周年 記念館
5月9日（火）～ 5月12日（金）	7th International Conference on Mobile Data Management（MDM2006） http://www.mdm2006.kddilabs.jp/			奈良新公会堂
5月31日（水）～ 6月1日（木）	第59回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/PRO59.html	4月1日（土）	当日のみ	産業技術総合研究所 秋葉原サイト
7月13日（木）～ 7月14日（金）	2nd International Conference on Collaboration Technologies （CollabTech 2006） http://www.collabtech.org/			筑波大学
9月5日（火）～ 9月7日（木）	FIT2006 第5回情報科学技術フォーラム			福岡大学
10月11日（水）～ 10月13日（金）	The 3rd International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking（ICMU2006） http://www.icmu.org/icmu2006			イギリス （ロンドン大学）
10月23日（月）～ 10月24日（火）	International Workshop on Security（IWSEC2006） http://www.iwsec.org/			京都

Webページ（http://www.ipsj.or.jp/）更新情報

［トピックス］

■12月15日　人材募集情報（12月）更新しました
■12月15日　ソフトウェアジャパン2006参加申込受付開始（2/10〆切り）
■12月15日　第68回全国大会聴講参加・講演論文集予約申込受付開始（2/10〆切り）
■12月9日　「日本の情報教育・情報処理教育に関する提言2005」に関するパブリックコメント募集のお知らせ

［学会からのお知らせ］

■12月13日　論文誌（ジャーナル）の論文査読状況を更新しました
■11月24日　平成17年度論文賞候補論文推薦のお願い

人材募集
（有料会告）

申込方法：任意の用紙に件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web掲載の有無などを記載し，掲載希望原稿（[募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail，Faxまたは郵送にてお申し込みください．
＊都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください．
申込期限：毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します．
掲載料金：国公私立教育機関，国公立研究機関　21,000円（税込）
賛助会員（企業）　31,500円（〃）
賛助会員以外の企業　52,500円（〃）
＊本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます．
申込先：情報処理学会　会誌編集部門（有料会告係）　E-mail:editj@ipsj.or.jp　Fax(03)3518-8375
＊原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています．もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください．

＊特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

有料会告

■大阪外国語大学

募集人員　ポストドクター　1名
専門分野　eラーニング，教育用ソフトウェア
業務内容　現代GP（eラーニング部門）「異文化障壁を乗り越える対話と交渉能力の育成」における（1）語学や交渉能力育成のための対話的な教育用ソフトウェアの共同研究開発（数人のチームでの研究開発になります．研究成果の発表も含みます）（2）現代GPプロジェクトの推進支援，週40時間勤務
応募資格　教育学または情報科学などの博士号取得者が望ましい．業務内容を遂行できるとこちらで判断されれば，博士号取得は必須ではありません
着任時期　平成18年のできるだけ早い時期～平成20年3月まで
提出書類　履歴書，業績リスト
応募締切　平成18年1月31日（当日消印有効）
送付先　〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷8-1-1　大阪外国語大学　総務課人事係　「現代GPポストドクター」と朱書
照会先　総務課人事係　E-mail:person@osaka-gaidai.ac.jp
現代GP取組担当者　アジア・アフリカ講座教授　高橋　明　E-mail:takahasi@osaka-gaidai.ac.jp
その他　給与：月19～23万円程度を予定，社会保険加入予定，交通費別途支給

■山形大学工学部情報科学科

募集人員　助教授　2名
専門分野　次のいずれかの分野：(1) ソフトウェア工学　(2) データベース・メディア情報システム　(3) ユーザインタフェース　(4) 知能ロボティックス
担当科目　専門分野に関連した科目（(1)ソフトウェア工学，(2)データベース論，(3)認知科学入門，(4)制御工学，など）と情報基礎科目
応募資格　博士の学位を有し，専門分野に業績があり，研究と教育に熱意があり，大学院の教育・研究指導ができ，かつ45歳以下の方
着任時期　平成18年4月1日，またはそれ以降の早い時期
提出書類　履歴書（所属学会名記載），研究業績リスト（研究論文，速報，国際会議発表論文，著書，解説論文，特許などに分けて記載），研究・教育活動概要（これまでの研究・教育内容と自己評価，外部資金取得状況，受賞，主要論文別刷（3～5編，コピー可），学会・国際会議で就任の役職名），着任後の教育・研究に対する抱負（各1000字程度），応募者の所見をいただける2名の推薦書（または氏名と連絡先）
応募締切　平成18年2月17日（必着）
送付先　〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16　山形大学工学部情報科学科　学科長　好田正紀　「教員応募書類在中」と朱書し簡易書留
照会先　情報科学科　教授　後藤源助　E-mail:gengoto@yz.yamagata-u.ac.jp　Tel(0238)26-3275　Fax(0238)26-3299

■武蔵工業大学工学部コンピュータ･メディア工学科

募集人員　助教授または講師　1名
専門分野　組み込みソフトウェア，オペレーティングシステムなど
担当科目　オペレーティングシステム，アルゴリズムとデータ構造，プログラミングおよび演習など
応募資格　博士の学位を有し，専門分野において優れた業績があり，教育・研究に熱心で，学部および大学院の学生の指導ができる方．40歳未満の方が望ましい
着任時期　平成18年4月1日
提出書類　履歴書（E-mailアドレスを記載のこと），研究業績リスト（著書，学術論文，国際会議論文，その他研究報告，特許など，年代の新しいものから古いものへの順で番号をつける），主要論文別刷（5編以内，コピー可），これまでの研究・教育歴の概要と着任後の抱負（A4用紙2枚程度）
応募締切　平成18年2月28日（必着）
送 付 先　〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1　武蔵工業大学工学部コンピュータ・メディア工学科　事務室
Tel(03)3703-3111（ext.3700）　Fax(03)5707-1170　「応募書類」と朱書し簡易書留　＊応募書類は原則として返却いたしません
照 会 先　コンピュータ・メディア工学科　主任教授　宮内　新　E-mail:miyauchi@ic.cs.musashi-tech.ac.jp　Tel(03)3703-3111（ext.3724）
Fax(03)5707-2182

■（株）豊田中央研究所

募集人員　正社員　各1名
職務内容　(1)路車／車車間通信システム・ネットワークに関する研究　(2)運転行動モデルに関する研究　(3)高信頼車載ソフトウェア開発技術に関する研究
応募資格　(1)情報通信またはネットワーク関連に興味を有する修士以上の方　(2)パタン認識，信号処理，制御の分野での研究開発経験を有する修士以上の方　(3)高信頼ソフトウェア構築のための技法とプロセス，特に組み込みシステムの形式的モデル化と検証法に関する研究開発の経験を有する修士以上の方
着任時期　平成18年4月1日以降（相談に応じます）
提出書類　応募職種･職務内容を明記の上，次の書類をお送りください：履歴書，職務歴（研究実績），論文リスト，主要論文別刷（コピー可）
応募締切　平成18年3月31日（必着）
送付先／照会先　〒480-1192 愛知県愛知郡長久手町大字長湫字横道41-1　（株）豊田中央研究所　総務部人事課　羽田，宮崎
E-mail:saiyo@mosk.tytlabs.co.jp　Tel(0561)63-6509　Fax(0561)63-5744
そ の 他　Webページ（http://www.tytlabs.co.jp/）

ソフトウェアジャパン2006開催のご案内
参加申込受付中

http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/software-j2006/

開催日時：平成 18 年 2 月 17 日(金) 9:30-17:30
開催会場：東京コンファレンスセンター品川 5F 大ホール(JR 品川駅港南口(東口)より徒歩 2 分
主催：情報処理学会
協賛：独立行政法人 情報処理推進機構ソフトウェア・エンジニアリング・センター，社団法人電子情報通信学会
社団法人情報サービス産業協会，社団法人日本情報システムユーザ協会，XMLコンソーシアム，日本ソフトウェア科学会
後援(予定)：文部科学省，総務省，経済産業省

－サービス社会の到来－

今日，ソフトウェアは，IT 産業のみならず製造業から金融・サービス業に至るまで，あらゆる産業において付加価値の源泉となっています．しかし，近年のシステム障害がもたらした社会全体に対する大きな影響に見られるように，現代社会の基盤ともなっています．さらに，Web2.0 に象徴される Web 技術の新たな段階への発展とユビキタス/組込みソフトウェアの急速な拡大とがあいまって，ソフトウェア技術とビジネスは，一層の進化を求められています．大学や研究所におけるソフトウェア技術の研究開発者と，60 万人とも言われるソフトウェア産業の実務者との連携がまさに必要とされています．さらに，日本のソフトウェアの競争力，ひいては産業全体の競争力の向上も急務です．

このような背景のもとに，私たちはソフトウェア技術とビジネスの課題と将来について広く深い討議を喚起する「IT フォーラム」を創設します．すべてのソフトウェア技術者・経営者・利用者が現場の課題や知見を持ち寄り，「ソフトウェアのあるべき姿」を目指す新たな場となるよう考えています．この活動の一環として，今般，「ソフトウェアジャパン 2006」を企画しました．テーマは，今後のソフトウェア技術とビジネスの中核と考えられている「サービスサイエンス・サービスマネジメント・サービスエンジニアリング」を軸として，多方面から，ソフトウェアのあり方を問うものです．ソフトウェア技術とビジネスの発信と交流の場として，また，ひいてはソフトウェア産業の活性化，競争力の強化を促進する場となるよう企画しております．

ソフトウェア産業を支える企業の皆様、次世代を担う若手の技術者・研究者の皆様、また次世代の人材を育てる大学の皆様、「ソフトウェアジャパン 2006」の「日本のソフトウェアに新しい風を起こす」という趣旨にご賛同のうえ，是非とも多くの方からのご参加を頂けますようお願い申し上げます．

■プログラム(予定) *プログラムは若干変更になる可能性がございます．最新のプログラムはソフトウェアジャパン2006 Webページでご確認下さい．

第1セッション：サービス・サイエンスセッション	
9:30-10:20	基調講演：コールセンタを核とした企業改革の実践 －サービスサイエンスへの序章－ 諏訪 良武(ソフトブレーン株式会社プリンシパルコンサルタント、国際大学グローバルコミュニケーションセンターフェロー)
10:20-10:50	招待講演：サービスの実践からサイエンスへ！ －お客様と触れ合うネット通販の現場から－ 村内 伸弘(株式会社ムラウチドットコム代表取締役社長兼 CEO)
10:50-11:00	休憩
11:00-12:30	パネル討論：サービスサイエンス事始 －科学的アプローチはサービスをどう変えるか？－ 司　　会：丸山 文宏(富士通株式会社 IT コア研究所主席研究員) パネリスト：諏訪 良武(ソフトブレーン株式会社プリンシパルコンサルタント、国際大学グローバルコミュニケーションセンターフェロー) 村内 伸弘(株式会社ムラウチドットコム 代表取締役社長兼 CEO) 近藤 隆雄(明治大学大学院グローバル・ビジネス研究科教授) 長沢 伸也(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授) 青山 幹雄(南山大学数理情報学部情報通信学科教授)
第2セッション：サービス・システムセッション	
13:30-14:15	講演(1)：※調整中[確定次第ソフトウェアジャパン 2006 Webページへ掲載致します] 榊原 彰(日本アイ・ビー・エム株式会社 ディスティングイッシュト・エンジニア、エグゼクティブ IT アーキテクト)
14:15-15:00	講演(2)：情報システムのパラダイムシフト －KDDI のシステム構造改革－ 繁野 高仁(KDDI 株式会社 情報システム本部長、執行役員)
第3セッション：ザ・ジャパンソフトウェアセッション	
15:30-16:10	講演(1)：成長を続けるオンラインゲーム：世界で勝ち抜く戦略とは何か 松原 健二(株式会社コーエー ネットワークゲーム担当 執行役員)
16:10-16:50	講演(2)：※調整中[確定次第ソフトウェアジャパン 2006 Webページへ掲載致します]
16:50-17:30	講演(3)：※調整中[確定次第ソフトウェアジャパン 2006 Webページへ掲載致します] 鎌田 富久(株式会社ACCESS 代表取締役副社長兼CTO)
17:30-17:45	IT フォーラムの紹介： 徳田 英幸(情報処理学会 技術応用運営委員会委員長、慶應義塾大学環境情報学部教授兼政策・メディア研究科委員長)
18:00-20:00	**懇親会[会場：同会場 3F レストラン]**

■参加費：一般(会員・非会員共)：5,000 円 ／ 学生(会員・非会員共)：無料
■懇親会費：一般・学生共：無料
■参加申込：標記のソフトウェアジャパン 2006 Web ページから申込み下さい．
■参加申込〆切り：平成 18 年 2 月 10 日(金)19:00
■問合せ先：情報処理学会事業部門 Tel.(03)3518-8373 E-mail:jigyo@ipsj.or.jp 詳細は Web ページをご覧下さい．

－情報処理学会創立 45 周年記念イベント－

日本のコンピュータ生誕 50 周年記念シンポジウム開催のご案内

http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/

開催日時：平成 18 年 3 月 7 日（火） 13:00-17:15

開催会場：工学院大学 新宿キャンパス高層棟 3F アーバンテックホール

主催：社団法人 情報処理学会

協賛：社団法人 情報サービス産業協会，独立行政法人 情報通信研究機構，社団法人 電子情報技術産業協会，
独立行政法人 産業技術総合研究所

－記念シンポジウム併設記念展示会のご案内－

開催日／会場：平成 18 年 3 月 7 日（火）～9 日（木） ／ 同会場高層棟 1F アトリウム］

1950 年代から現在までのエポックメイキングとなったコンピュータを写真映像で紹介。ETL-MarkⅣ A/製造：電気試験所（1959 年）、座席予約システムマルス 101/製造：日立・国鉄（1964 年）は現物を展示、真空管式計数型電子計算機 FUJIC/製造：富士写真フィルム（1956 年）は等倍写真を展示、他情報処理学会 コンピュータ博物館の web 閲覧。

－シンポジウム開催趣旨：日本の IT 産業の未来を創る－

1956 年に日本最初の電子計算機が誕生してから 50 年が経過しようとしています。この半世紀の間に、コンピュータ技術は広がりを持ち、世界最高速のスパーコンピュータからゲーム端末や携帯電話まで幅広く利用され、わが国は世界の最先端を走り続けています。また、コンピュータだけでなく、サービスとしての産業も活発で、携帯電話向けのモバイルインターネットサービスでは世界で最も進んだサービスを提供しています。高々50 年前に産声を上げた電子計算機を端緒とした IT 技術は、巨大な産業を生み、猛烈なスピードで小型化、高速化、高機能化が進んでいます。あまりのスピードで技術が進むがゆえ、想像を超えたサービスが提供され、かえって将来の夢が描きにくくなってきているのではないかと危惧します。このような状況の中で、情報処理技術及び IT 産業の将来ビジョンを提示し、夢を描くことが、世界のリーダーとしてのわが国の責務であると考えています。この目的のため、もともと『計算機』として誕生したコンピュータが計算以外の用途にも活用され、現在では我々の生活になくてはならないインフラになったという『来し方』を振り返り、この先の IT はさらにどんな進化を遂げていくのかという『未来・夢』を議論するためのシンポジウムを企画いたしました。開催の趣旨は、以下のような方々が広く集う技術発信と交流の場を設け、将来の夢を広くアピールし、ひいては IT 産業の活性化、競争力の強化を促進するものです。

1. 産官学のオピニオンリーダー、2. IT 産業に関わっている技術者、3. 次世代を担う若手技術者・研究者・学生、
4. 情報処理技術を目指す学生

是非とも本シンポジウムの「日本の IT 産業の未来を創る」という趣旨にご賛同のうえ、ご参加を頂きますようお願い申し上げます。

■プログラム

12:30	開場
13:00-13:10	開会のご挨拶 情報処理学会会長 安西 祐一郎
13:10-13:35	記念論文 「50 年後の情報科学技術をめざして」受賞論文の発表と表彰
13:35-14:30	特別講演 「情報学的転回とは何か」 西垣 通（東京大学 大学院 情報学環 教授）
14:30-15:15	基調講演 「ユニバーサル・コミュニケーションの時代 －充実した情報空間の建設に向けて－」 長尾 真（独立行政法人 情報通信研究機構 理事長）
15:15-15:45	休憩 *併設記念展示会/個別展示 見学
15:45-17:15	パネル討論「日本の IT 産業の未来を創る」
	司　会：白鳥 則郎（東北大学）
	パネリスト：日本のIT 産業が生き残り、発展するためには 青山 幹雄（南山大学）
	中高大の教育の中で「情報」をどう扱っていくか 筧 捷彦（早稲田大学）
	工学系大学生・若手研究者への期待 大堀 淳（東北大学）

■参加費：無料

■参加申込：標記の本シンポジウム Web ページから申込み下さい。

■参加申込〆切り：平成 18 年 2 月 20 日（月） 19:00

■問合せ先：情報処理学会事業部門 Tel.(03)3518-8373 E-mail:jigyo@ipsj.or.jp 詳細は Web ページをご覧下さい。

■本シンポジウムにご賛同を頂きましたスポンサーおよびサポーター各社・団体

スポンサー（50 音順）

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	学校法人京都コンピュータ学園	株式会社東芝
日本アイ・ビー・エム株式会社	日本電気株式会社	日本電信電話株式会社
株式会社日立製作所	富士通株式会社	マイクロソフト株式会社
三菱電機株式会社		

サポーター

ソニー株式会社

有料会告

有料会告

FIT2006 第5回情報科学技術フォーラム
論文発表募集案内

2006 年 3 月 13 日（月）より登録申込み／投稿 受付開始予定

会　期：2006年9月5日（火）～ 7日（木）
会　場：福岡大学 （福岡県福岡市城南区）

査読付き論文 及び 一般論文 の 論文発表を募集します
○論文ページ数： 2～4ページ　○講 演 時 間 ： 20分
※3ページ目以降はエキストラページ料金（3,000円／ページ）が必要です

電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ（ISS）並びにヒューマンコミュニケーショングループ（HCG）と情報処理学会（IPSJ）は、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT：Forum on Information Technology)」を開催しており、2006年9月には第5回目を福岡大学で開催します。

本フォーラムは、ISS ソサイエティ大会と IPSJ 全国大会 の流れを汲むものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきており、前回の FIT2005 では 740 件の論文発表が行われました。

皆様の 研究成果発表の場として、標記のとおり 論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

査読付き論文

査読付き論文は、FIT 設立に伴い新たに導入された企画です。

採録論文は「情報科学技術レターズ(Information Technology Letters)」として独立した講演論文集に掲載します。査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大 4 ページに緩和された論文ページ数を活用して下さい。採録論文の中から船井ベストペーパー賞を 3 件選定し、受賞された方には船井情報科学振興財団から賞金 20 万円が贈呈されます。また FIT2006 論文賞として 7 件程度を選定し、賞金 5 万円を贈呈します。皆様、是非ともチャレンジして下さい。査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います。

※査読を申し込まれた論文につきましては、講演を取り消された場合でも講演参加費はお支払い頂きますのでご了承下さい。

※なお、一部の分野では査読付き論文の募集を行いません。査読付き論文の募集を行う分野については、公式サイトをご覧下さい。

※FIT 情報科学技術レターズに掲載された論文は、学会論文誌に掲載されているレター、テクニカルノート、ショートペーパー、研究速報等と同じ位置付けとなります。

一般論文

ページ数・講演時間は、査読付き論文と同じですが、査読を行わない分、投稿〆切りが約 2 ヶ月遅くなります。

2006 年 12 月 31 日現在で 33 歳未満の講演者（査読付き論文および一般論文）の中から、特に優れた発表をされた 20 名程度に、ヤングリサーチャー賞を授与し賞金 3 万円を贈呈します。

申込み主要日程（予定）

■査読付き論文

登録申込／投稿受付開始：平成18年3月13日（月）
登録申込〆切り／査読用原稿の投稿〆切り：平成18年4月27日（木）
査読の採否結果通知　：平成18年6月22日（木）
カメラレディ投稿〆切り：平成18年7月 7日（金）

■一般論文

登録申込／投稿受付開始：平成18年3月13日（月）
登録申込〆切り　：平成18年6月 2日（金）
カメラレディ投稿〆切り：平成18年7月 7日（金）

※登録申込と原稿投稿は、すべてWebを通じて行って頂きます。下記のFIT2006公式サイトからお願い致します。
※登録申込、原稿投稿要領の詳細は、決定次第 FIT2006 公式サイトでお知らせ致します。

問合せ先

105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 202 号室
社団法人 電子情報通信学会 集会事業部　FIT担当　TEL.03-3433-6691　FAX.03-3433-6659　E-mail:ieicefit@ieice.org

FIT2006公式サイト　http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2006/

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします．

記

■掲載条件

<table>
<tr><th>件名</th><th>内容</th><th>掲載単位</th><th colspan="2">掲載料金（消費税込）</th></tr>
<tr><td rowspan="6">論文募集／参加者募集</td><td rowspan="6">国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集</td><td rowspan="6">1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ</td><td colspan="2">（主催・共催）</td></tr>
<tr><td>1 ページ</td><td>52,500 円</td></tr>
<tr><td>1/2 ページ</td><td>31,500 円</td></tr>
<tr><td>1/4 ページ</td><td>21,000 円</td></tr>
<tr><td colspan="2">（協賛）</td></tr>
<tr><td colspan="2">広告として取り扱う</td></tr>
<tr><td rowspan="4">人材募集</td><td rowspan="3">国公私立教育機関，国公立研究機関，企業の人材募集</td><td rowspan="3">10 行程度</td><td>国公私立教育機関，国公立研究機関</td><td>21,000 円</td></tr>
<tr><td>賛助会員（企業）</td><td>31,500 円</td></tr>
<tr><td>賛助会員以外の企業</td><td>52,500 円</td></tr>
<tr><td colspan="4">＊本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます．</td></tr>
</table>

■申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください．

■原稿の書き方

●行事次第書：

A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします．
（1 ページ）　天地 260mm × 左右 175mm
（1/2 ページ）天地 130mm × 左右 175mm
（1/4 ページ）天地 65mm × 左右 175mm
＊ A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご留意ください．

●人 材 募 集：

次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください．
［募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先］
＊なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください．校正ゲラは原則として出しておりません．

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します．

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください．

■掲載申込先

（社）情報処理学会　会誌編集部門（有料会告係）
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F
E-mail:editj@ipsj.or.jp　Tel (03) 3518-8371　Fax (03) 3518-8375

平成18年度学生会員用研究会無料登録申込書

学生会員のみなさまへ

平成 18 年度研究会の中から
無料で 1 件登録できます！

今すぐ
チェックして
申し込もう！

<平成18年度研究会一覧>

	データベースシステム
	ソフトウェア工学
	計算機アーキテクチャ
	システムソフトウェアとオペレーティング･システム
	システム LSI 設計技術
	ハイパフォーマンスコンピューティング
	プログラミング
	アルゴリズム
	数理モデル化と問題解決
	組込みシステム
	マルチメディア通信と分散処理
	ヒューマンインタフェース
	グラフィクスと CAD
	情報システムと社会環境
	情報学基礎
	オーディオビジュアル複合情報処理
	グループウェアとネットワークサービス
	分散システム／インターネット運用技術
	デジタルドキュメント
	モバイルコンピューティングとユビキタス通信
	コンピュータセキュリティ
	高度交通システム
	高品質インターネット
	システム評価
	ユビキタスコンピューティングシステム
	自然言語処理
	知能と複雑系
	コンピュータビジョンとイメージメディア
	コンピュータと教育
	人文科学とコンピュータ
	音楽情報科学
	音声言語情報処理
	電子化知的財産・社会基盤
	ゲーム情報学
	エンタテインメントコンピューティング
	バイオ情報学

お申し込み

登録希望研究会の申込欄に○をご記入ください。
無料申請は 1 件のみです。

↓

事務局へ FAX（03-3518-8375）

年　月　日

会員番号

E-Mail

フリガナ
氏　名

お問合せは

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 1-5
化学会館 4F
(社) 情報処理学会 研究部門　調査研究担当
Tel(03)3518-8372（研究部門直通）
Fax(03)3518-8375（共通）
E-mail:sig@ipsj.or.jp

詳しくはこちら
Web からも申し込めます
➡ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kenkyukai/toroku.html

平成 18 年度会誌モニタ募集のお知らせ

会誌編集委員会

会誌「情報処理」をよりよくするために編集委員一同努力を続けておりますが，会誌についての会員の方々の評価や希望をうかがい，今後の改善に役立てるために，モニタ制度を設けております．
関心のある方はぜひふるってご応募ください．

応募の資格　本会員で，モニタの役割を積極的に果たしていただける方．

モニタの役割　会誌毎号の本誌巻末の所定用紙または学会 Web ページ（http://www.ipsj.or.jp/）から，毎月アンケートに回答する．

- 記事に対する評価
- 記事に対する感想・意見
- 記事テーマの提案
- そのほか全般的な意見・提案など

注）会誌の記事をすべて読むといったことは必ずしも必要ではありません．自分の立場や問題意識，得意とする分野などを基準とした「独断と偏見による」自由な意見を期待します．

期　間　原則として 1 年間とします．
対 象 号　会誌 47 巻 4 号〜 48 巻 3 号
謝　礼　貴重なご意見をいただいた方には薄謝または記念品を贈呈します．
募集人員　特に定めませんが，応募者数によっては当委員会で調整させていただくことがあります．
応募締切　**平成 18 年 2 月 28 日（火）必着**　＊申込書を Fax するか，または E-mail でお申し込みください．

申込／照会先　情報処理学会　会誌編集部門（モニタ係）

平成 18 年度会誌モニタ申込書

宛先：情報処理学会　会誌編集部門（モニタ係）
E-mail:editj@ipsj.or.jp　Fax(03)3518-8375

氏　名

会員番号　（　　　　　　　　　　　）

住　所　〒

所　属

E-mail:
Tel（　　　）　　-
Fax（　　　）　　-
年　齢（　　　歳）

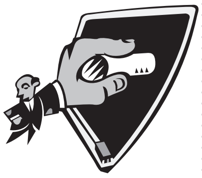
業種：(a) 企業 (b) 企業 (c) 研究機関 (d) 教育機関 (e) 学生 (f) その他

職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務 (f) 会社経営・役員・管理職
(g) 教官（大学・大学院）(h) 教職員 (i) 学生 (j) その他

IT Text シリーズ　情報処理学会編

ITText 一般教育シリーズ
情報とコンピューティング
河村一樹 編著
A5判／218頁／本体2,500円(税別)

ITText 一般教育シリーズ
情報と社会
駒谷昇一 編著
A5判／220頁／本体2,500円(税別)



新刊!!

ITText 分散処理
谷口 秀夫　編著
A5判／240頁／本体2,800円(税別)

ITText インターネットプロトコル
阪田史郎　編著
A5判／272頁／本体2,800円(税別)

好評既刊書

ITText コンピュータアーキテクチャ
内田啓一郎・小柳　滋 共著
A5判／236頁／本体2,800円(税別)

ITText 人工知能
本位田真一 監修、松本一教・宮原哲浩・永井保夫 共著
A5判／200頁／本体2,500円(税別)

ITText コンパイラとバーチャルマシン
今城哲二・布広永示・岩澤京子・千葉雄司 共著
A5判／212頁／本体2,800円(税別)

ITText コンピュータグラフィックス
魏　大名・Carl Vilbrandt・Roman Durikovic・先田和弘・向井信彦 共著
A5判／280頁／本体3,000円(税別)

ITText コンピュータネットワーク
松下　温・重野　寛・屋代智之 共著
A5判／216頁／本体2,500円(税別)

ITText 音声認識システム
CD-ROM
鹿野清宏・伊藤克亘・河原達也・武田一哉・山本幹雄 編著
A5判／216頁／CD-ROM付／本体3,500円(税別)

ITText エージェント工学
西田豊明・木下哲男・北村泰彦・間瀬健二 共著
A5判／226頁／本体2,800円(税別)

ITText ヒューマンコンピュータインタラクション
岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・塩澤秀和・仲谷美江 共著
A5判／240頁／本体2,800円(税別)

ITText オペレーティングシステム
野口健一郎 著
A5判／240頁／本体2,800円(税別)

ITText データベース
速水治夫・宮崎収兄・山崎晴明 共著
A5判／196頁／本体2,500円(税別)

ITText ソフトウェア工学演習
伊藤　潔・廣田豊彦・冨士　隆・熊谷　敏・川端　亮 共著
A5判／228頁／本体2,800円(税別)

ITText 情報リテラシー
海野　敏・田村恭久 共著
A5判／248頁／本体2,800円(税別)

ITText 応用Web技術
市村　哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判／210頁／本体2,500円(税別)

ITText 認知インタフェース
加藤　隆 著
A5判／248頁／本体2,800円(税別)

ITText プログラム仕様記述論
荒木啓二郎・張　漢明 共著
A5判／210頁／本体2,800円(税別)

ITText 情報と職業
駒谷昇一・辰己丈夫・楠元範明 共著
A5判／232頁／本体2,500円(税別)

ITText アルゴリズム論
浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著
A5判／242頁／本体2,800円(税別)

IT Text ソフトウェア開発
小泉寿男・辻　秀一・吉田幸二・中島　毅 共著
A5判／224頁／本体2,800円(税別)

ITText 基礎Web技術
松下　温 監修／市村　哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判／200頁／本体2,500円(税別)

ITText 知識マネジメント
大澤幸生 編著
A5判／232頁／本体2,800円(税別)

ITText 情報セキュリティ
宮地充子・菊池浩明 編著
A5判／280頁／本体3,000円(税別)

OHM Ohmsha オーム社
101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1
TEL 03(3233)0641　FAX 03(3293)6224
http://www.ohmsha.co.jp/
本体価格(税別)は変更する場合があります。

ご意見をお寄せください！

【2 月 10 日頃までにお出しください】

宛　先　（社）情報処理学会　モニタ係（下記のいずれからも送付できます）

http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4701.html　Fax(03)3518-8375　E-mail:editj@ipsj.or.jp

（E-mail で送信される場合は，10-1-a のようにコードでお答えください）

※ご意見の投稿に伴う，住所，氏名，所属などの個人情報については，学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします．
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

［コード］

1. ご氏名

2. ご所属　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Tel.（　　　　）　　　　-

3. E-mail:

4. 業種：（a）企業（サービス業）（b）企業（製造業）（c）研究機関　（d）教育機関（大学・高専など）
（e）学生　（f）その他 ………… 4-

5. 職種：（a）研究職　（b）開発・設計　（c）システムエンジニア　（d）営業　（e）本社管理業務
（f）会社経営・役員・管理職　（g）教官／教員（大学・大学院）（h）教職員（小・中・高校・高専など）
（i）学生　（j）その他 ………… 5-

6. 年齢：（a）10 代　（b）20 代　（c）30 代　（d）40 代　（e）50 代　（f）60 代以上 ………… 6-

7. 性別：（a）男性　（b）女性 ………… 7-

8. あなたはモニタですか？：（a）はい　（b）いいえ ………… 8-

9. あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります．その場合：
（a）実名可（氏名のみ掲載）（b）匿名希望　（c）掲載を希望しない ………… 9-

10. 今月号（2006 年 1 月号）の記事についてのあなたの評価をご記入ください．
［a …大変参考になった　b …よい　c …普通，どちらとも言えない　d …悪い　e …読んでいない］

講演：第 67 回全国大会招待講演　John Atanasoff — The Electronic Prometheus ………… 10-1-
特集：マルチコアにおけるソフトウェア
1. マルチコア化するマイクロプロセッサ ………… 10-2-
2. マルチコアにおけるプログラミング ………… 10-3-
3. FR1000 におけるチップマルチプロセッサアーキテクチャの紹介 ………… 10-4-
4. 組み込みマルチコアプロセッサのソフトウェアプラットフォーム ………… 10-5-
5. ヘテロマルチコアプロセッサ Cell 上でのスレッド実行環境 ………… 10-6-
6. 機能分散マルチプロセッサ向けのリアルタイム OS ………… 10-7-
ミッションクリティカルシステムのための Linux ………… 10-8-
Haskell プログラミング：暦法算法 ………… 10-9-
情報技術と医療：コンピュータは自動診断の夢をみるか？ ………… 10-10-
アメリカ IT まわりの話題：オンラインでの音楽販売とファッションの関係 ………… 10-11-
日本の IT 事情：IT と選挙 ………… 10-12-
20 世紀の名著名論：Alan Turing : Computing Machinery and Intelligence ………… 10-13-
20 世紀の名著名論：R. Diestel：Graph Theory ………… 10-14-
私の情報整理術：創造につながる情報整理 ………… 10-15-

11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください．

12. 著者への質問，今後取り上げて欲しいテーマ，また「道しるべ」に取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください．

■ 編集室 ■

私がまだ学部の学生だったころ「プロセッサの速度向上には限界があるので今後はマルチプロセッサが主流になる」と言われて15年ほどたった．当時はプロセッサの速度向上が非常に大きく，苦労してプログラムを並列化して高速化しても，プログラムが完成したころには，それ以上にプロセッサが速くなってしまう．こんな状況だったので，一般のユーザに並列処理が本当に広まるのかと思ったこともあった．

現在は，各社がマルチコアプロセッサを発売するようになり，ようやく並列処理が一般のユーザに広まる環境ができつつある．このような状況も手伝って，今回このような特集を組むことになり，感極まるものがある…なんて偉そうなことは言えない．実はこの特集の執筆者を決めるにあたり，早稲田大学の木村先生には大変なご尽力をいただいた．木村先生がいらっしゃらなければ特集は成立し得なかったといっても過言ではない．

今後，マルチコアプロセッサは，身の回りのほとんどの情報機器に利用されるはずである．この状況では，かかわりたくなくてもマルチコアプロセッサに接することになるので，並列ソフトウェア技術はますます重要になるであろう．

最後に，本特集が皆さんにとって少しでも役立つようにと願っています．

（前川仁孝／本特集エディタ）

次号（2月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください．

「特集」通信と放送の融合

通信・放送の今／ハイビジョン映像の非圧縮伝送／**HDV** による高画質映像伝送／高精細映像による遠隔授業／プロ野球のインターネット配信の実現手法／放送と著作権

解　説

IT スクールによる高度 IT 人材育成事例について（1）…… 並木美太郎　他
よりよい検索システム実現のために：正解の良し悪しを考慮した情報検索評価の動向…… 酒井哲也
量子コンピュータは公開鍵暗号にとって脅威なのか？…… 小柴健史
愛・地球博グローバル・ハウス統合情報支援システム－ CONSORTS アーキテクチャによる情報提供・会場運営支援システム－…… 車谷浩一　他

連　載　Haskell プログラミング

コラム　アメリカ IT まわりの話題／情報技術と医療／ 20 世紀の名著名論／日本の IT 事情／私の情報整理術

会員募集中!!

ITの最新情報，研究発表の場の提供を通じて，あなたのお役に立ちます．

詳しくはWebサイト **http://www.ipsj.or.jp/** をご覧ください

申込／照会先　社団法人　情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370（会員サービス部門）　E-mail:mem@ipsj.or.jp

複写される方に

Ⓡ<学術著作権協会依託>
本誌に掲載された著作物を複写したい方は，（社）日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は，図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください．著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は，直接当学会へご連絡ください．
〒170-0052 東京都港区赤坂 9-6-41　乃木坂ビル
学術著作権協会
E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp
Tel (03)3475-5618　Fax (03)3475-5619
ただし，アメリカ合衆国における複写については，右記の In the USA に記載の所へご照会ください．

Notice about Photocopying
In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.
Except in the USA
Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo
107-0052, Japan
E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp
Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619
In the USA
Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA
Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744
http://www.copyright.com

掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は，必要事項をご記入の上，*E-mail:sei@ss-com.co.jp* または *Fax.03-3368-1519* へご請求ください．

「情報処理」　　月号をみて

広告主名	製品名	希望項目※	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望，B 担当者から連絡・訪問希望，C カタログ希望

お名前（フリガナ）

勤務先　　　　所属部署

所在地　(〒　　-　　)

TEL（　　）　-　　　FAX（　　）　-

ご専門の分野

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発　　行　社団法人 情報処理学会
発行部数　30,000 部
体　　裁　A4 判
発 行 日　毎当月 15 日
申込締切　前月 10 日
原稿締切　前月 20 日
広告原稿　オフセット用ポジフィルム
原稿寸法　1 頁　天地 260mm ×左右 180mm
　　　　　1/2 頁　天地 125mm ×左右 180mm
雑誌寸法　天地 297mm ×左右 210mm

お問合せ・お申込みは
広告総代理店
（株）精機通信社　Tel.03-3367-0571
〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
Fax.03-3368-1519　E-mail: sei@ss-com.co.jp

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円（税抜 330,000 円）	—	—
表 3	288,750 円（税抜 275,000 円）	—	—
表 4	404,250 円（税抜 385,000 円）	—	—
表 2 対向	315,000 円（税抜 300,000 円）	—	—
表 3 対向	278,250 円（税抜 265,000 円）	199,500 円（税抜 190,000 円）	162,750 円（税抜 155,000 円）
前付 1 頁	262,500 円（税抜 250,000 円）	173,250 円（税抜 165,000 円）	141,750 円（税抜 135,000 円）
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円（税抜 80,000 円）
前付最終	—	—	155,400 円（税抜 148,000 円）
目次前	—	—	155,400 円（税抜 148,000 円）
差込（A 判 70.5kg 未満　1 枚）	288,750 円（税抜 275,000 円）		
差込（A 判 70.5kg ～ 86.5kg　1 枚）	367,500 円（税抜 350,000 円）		

＊上記料金はポジフィルム納入による料金です．
＊版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます．
＊断切広告は上記料金の 10％増です．ただし，表 4 は不可．